

科目	臨床看護技術演習 II				
時間数	1 単位 30 時間	授業方法	演習	授業時期	2 年
講師名	③伊藤純子 ③弓山彩子 ③渡邊知美				
実務経験	③看護師(医療機関)				
ねらい	スクリーニングの技術と方法を理解し、フィジカルアセスメントの実際を学ぶ。				
目標	1. ペーパーペーシエントの情報から、フィジカルアセスメントに必要な観察項目を挙げる ことができる。 2. 胸部の聴診(呼吸音、心音)腹部の聴診、意識レベルと瞳孔の観察の方法がわかり、 正常と異常を知ることができる。 3. 観察の結果得られた情報をもとに、必要な看護を挙げるができる。				
授業計画					
回	内 容				
1～3	(事前学習及び臨地での演習) 手術室にて 手術時手洗い、手術時滅菌ガウンテクニック、手術体位				
4～6	(事前学習及び臨地での演習) 術後 1 日目の事例を用いて、点滴(末梢や中心静脈)ドレーン類を留置している患者 の寝衣交換				
7～9	(事前学習及び臨地での演習) 術後 1 日目の事例を用いて、創傷処置(手術創の被覆材を用いて)、ドレーン類(胸腔 ドレーン、SB バック、J バック等)挿入部位の処置、管理				
10～14	(事前学習及び臨地での演習) 術後 1 日目の事例を用いて、フィジカルアセスメント、監視モニター(血圧・心拍数、 SpO2)を実際に装着				
15	テスト、振り返り				
評価方法	その時間数の 3 分の 2 以上の出席者に限り受験資格を与える。 筆記試験 80%、提出物 10%、出席状況 10%を総合して評価する。 60 点以上を及第点とする。 技術を実施し、手順通りに実施できれば経験録に捺印する。				
教科書	基礎看護学(3)基礎看護技術 II : 医学書院 根拠と事故防止から見た基礎・臨床看護技術 第 2 版: 医学書院 臨床外科看護総論: 医学書院 急性期実習に使える! 周術期看護せんぶガイド: 照林社				